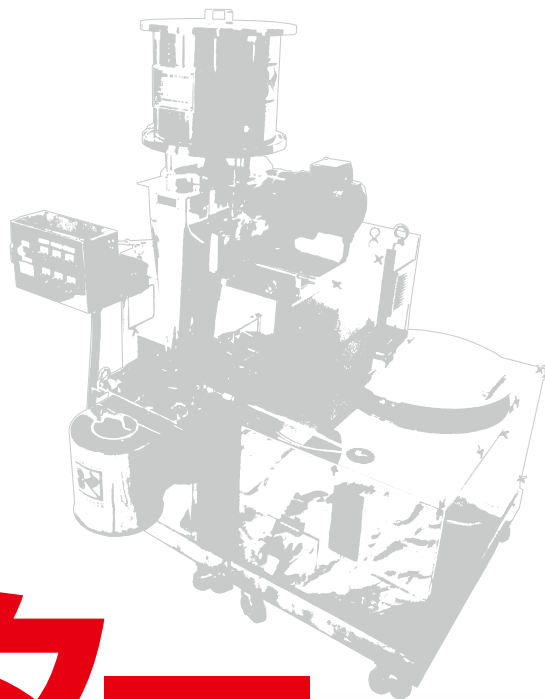


フロー ジェットター

F L O W J E T T E R



フロー ジェッター

F L O W J E T T E R

粉体と液体との混合を
極めて均一に行うことができ、
品質のばらつきがない
ロングセラーの
ミキサーです。



【特長】

● 省力化に貢献

小麦粉と液体を連続で混合する事が可能なため、ラインを自動化でき、省力化に貢献します。

● 製品の品質が向上

均一に加水されるため、グルテン組織が緊密に形成されます。粉が機械内で滞留する時間が短いので生地が発熱しにくく、傷みません。

● 特徴のある生地作り

小麦粉と液体を均一にミキシングできるため、多加水麺の製造に向いてます。生地の吸水ムラがなく、空気が多く入っているので、茹で上がり時間が早くなります。

FLOW JETTER 仕様

型 式	ミキシング能力	電気容量(200V)
J-150 型	50kg/H~ 200kg/H (2袋~ 8袋)	1.35 kW
J-300 型	100kg/H~ 300kg/H (4袋~12袋)	2.8 kW
Q-300 型	200kg/H~ 500kg/H (8袋~20袋)	3.15 kW
E-300 型	400kg/H~1000kg/H (16袋~40袋)	4.1 kW
E-450 型	600kg/H~1500kg/H (24袋~60袋)	5.6 kW

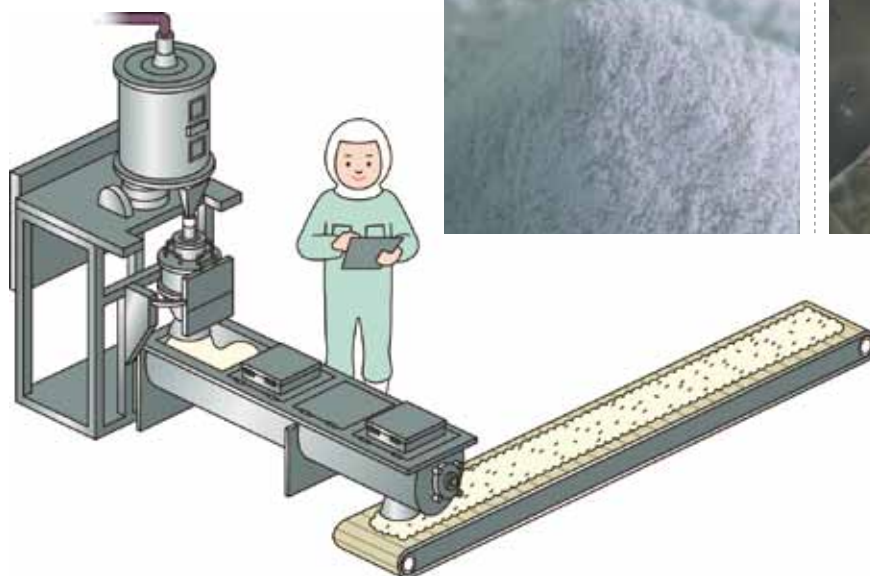
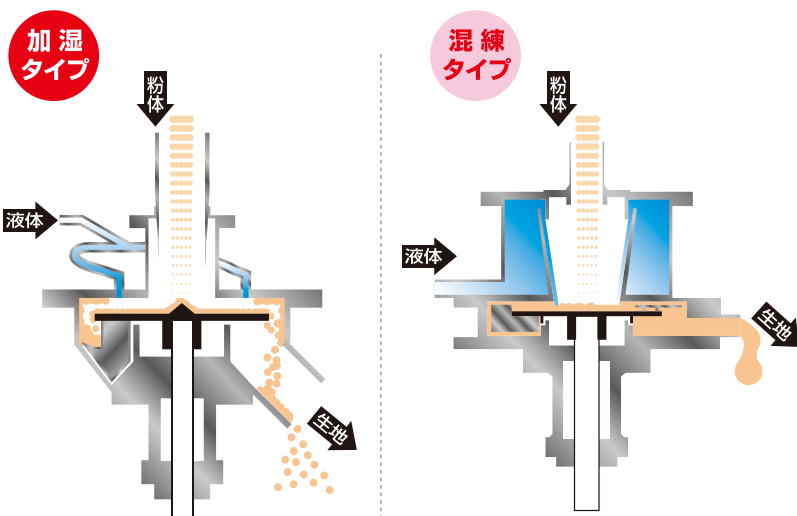
均一な加水！

本装置は、オートフィーダーから連続的に定量供給される小麦粉、液体、空気の三層を回転円盤上のピンで連続的に混合し、加水ムラのない生地を連続供給します。

これまでのミキサーで加水を行った場合には、加水の多い固まった部分をほぐす役割をしていたため、ミキシング時間を長く必要としていました。

フロージェッターシステムは小麦粉と液体を微粒状態で瞬間的に接触させるため、これまでの生地とは比較にならないほど細かい生地となります。

フロージェッターでミキシングが行われると、生地が微粒の集合体になり、空気の混入量がふえます。製麺機などを調節してこの空気を適当に抜くと、製品の食感に変化を与えられます。



清掃性

分解前



蓋



蓋はワンタッチで開放できます。

ピン



本体



ボルトを緩めてピンを外して清掃を行います。

粉と水が接触するのは回転円盤上のピンのため、清掃箇所はピン周辺のみとなります。ピンは分解・組立が簡単なので、掃除が簡単です。是非お試しください。

試験室での生地テストまたはテスト機を貸し出し、生地のテストが可能です。ご用命の際は弊社までご連絡下さい。

バリニーダー

可変式連続
混練装置

フロージェッターに接続すると生地を連続で製造することができ、省力化、安定した製品生産に貢献します。

【特長】

●練り効果が向上

麺生地の滞留時間が長いので熟成と練りが十分に行われます。生地を移動させながら、引き伸ばし、折り重ね、ひねりを加えて練り上げられます。攪拌ピンの回転数を変更することで、滞留時間、処理能力が容易に変更できます。

●生地の温度を一定に保ちます

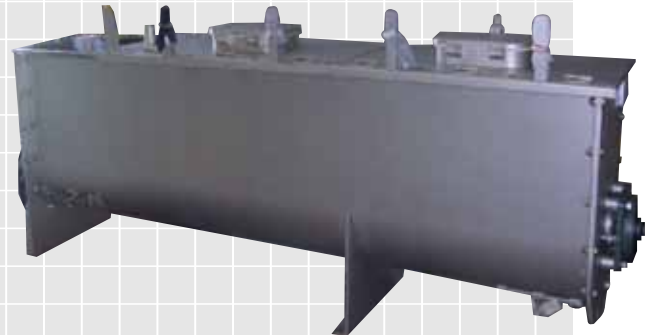
生地の温度を一定に保つため、ケースジャケット内に水を通す事が可能です。

●掃除が簡単

生地が均等に練られるため、機械への付着が少なく衛生的です。

●安全性

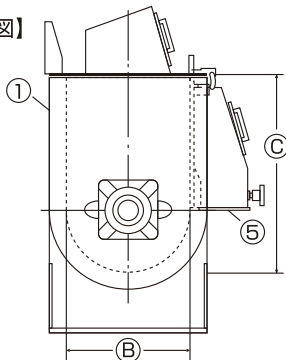
上蓋を開けると攪拌軸が自動的に停止して、万が一の事故を防止します。



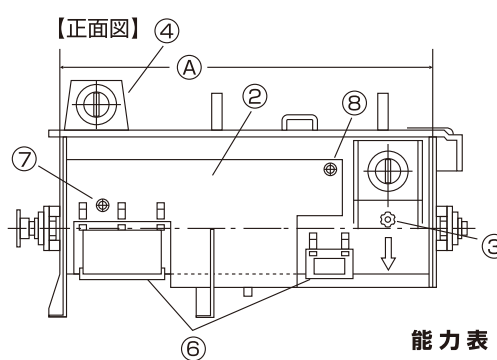
バリニーダー内部



【側面図】



【正面図】



【各部名称】

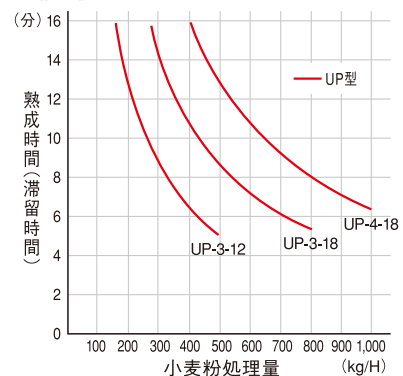
- ① 本体ケーシング
- ② ウォータージャケット
- ③ 排出口調整ロッド
- ④ 生地投入口
- ⑤ 生地排出口
- ⑥ 掃除口
- ⑦ 冷却水取入口
- ⑧ 冷却水排出口

能力：2～20袋/時 滞留時間：2～20分

型式別仕様

型式	混捏部 (単位:m/m)			容量 (ℓ)	生地量 (max.kg)	回転数 (r.p.m)	電動機 (kw)
	Ⓐ長さ	Ⓑ幅	Ⓒ深さ				
UP-3-12型	1,250	310	485	175	60	20~80 (可変)	3.7
UP-3-18型	1,800	310	485	250	100	20~80 (可変)	3.7
UP-4-18型	1,800	410	585	400	150	20~80 (可変)	5.5

能力表



日本製粉グループ
NIPPON ニッポンエンジニアリング 株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-7 TEL.03-3354-3737(代) FAX.03-3354-3106

E-mail:n.eng@nippn.co.jp http://www.nippn.co.jp/engineering